



令和8年7月30日

高山市長 田中 明 様

高山市指定管理者制度評価審査会
会長 番場 智徳

高山市指定管理者制度評価審査会の結果について（報告）

令和8年7月16日に開催した高山市指定管理者制度評価審査会において審査した、令和7年度指定管理者（222施設）の実績評価について、下記のとおり結果を報告します。

記

令和7年度における指定管理施設は、利用者のニーズにあったサービス提供や管理水準が保たれており、実績評価内容に不適切と判断される施設はなかった。

なお、指定管理者制度の運用にあたっては、以下の点に留意されたい。

- 1 良い施設であるにも関わらず、市民等に知られていない施設が多いため、市としても指定管理者と連携して積極的にPRに努めること
- 2 利用者の減少が続いており、老朽化が著しい、または近隣に類似施設がある施設は、廃止も含め検討すること
- 3 利用者が少ないにも関わらず管理費が大きい施設については、開館日や開館時間の変更も検討するなど、コスト縮減を図ること
- 4 老人いこいの家やゲートボール場など、施設名称が利用者属性や活動内容を限定していると勘違いさせるものがあるため、対応を検討すること
- 5 実績評価シートは、市民等に全ての指定管理施設がどのような運営をされているかを知っていただく重要な資料であるため、分かりやすい記載に努めること
- 6 業務計画における目標数値については、評価に直結する重要な指標であるため、安易に前例踏襲せず、しっかりと市と指定管理者が協議の上で設定すること